授業科目名・形態	栄養学　　演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	工藤　友子	実務経験の有無	有	開講期	１年後期
科目ナンバリング	N3-1003npmht				

【授業の主題】

本講義では「栄養学」の基礎知識を理解して、健康の維持や疾患の治療における栄養食事療法の役割と実際について学ぶ。各ライフステージを通して成長期の栄養バランス、成人期の生活習慣病の予防、高齢期の低栄養、終末期の栄養など、臨床栄養や栄養ケアマネジメントについて実務対応へと展開する。また、他の専門職と連携して医療と保健活動、栄養・食事面と栄養管理、人間栄養学と看護の役割など、アプローチの在り方についても考える。

【到達目標】

１．基礎知識を基に、健康の維持や疾患治療における臨床栄養（栄養食事療法）の役割を理解する。
２．医療と保健活動における専門職として、チームで取組むアプローチの在り方を理解する。

【授業計画・内容】

第 １ 回　人間栄養学と看護：栄養とは、栄養学の歴史、保健・医療制度
第 ２ 回　看護と栄養：看護師の役割、栄養補給法、チーム医療と地域における栄養ケア
第 ３ 回　栄養素のはたらき：三大栄養素（糖質・脂質・タンパク質）、脂溶性ビタミン、
第 ４ 回　栄養素のはたらき：水溶性ビタミン、ミネラル、食物繊維、水
第 ５ 回　食物の消化：消化器系のしくみとはたらき、三大栄養素の消化・吸収、その他の栄養素の消化・吸収
第 ６ 回　栄養素の吸収・代謝：三大栄養素の代謝、その他の代謝、食欲の調整、飲水行動
第 ７ 回　体内のエネルギーバランス：食品エネルギー、体内エネルギー、エネルギー消費　他
第 ８ 回　食品と食事：栄養素と食事、食品群と分類、食品群の特徴、食品表示
第 ９ 回　食品と食事：食品の調理、食事の変遷、食事摂取基準、指標の目的と種類、年齢区分、活用の基準他
第１０回　栄養ケアマネジメント：栄養スクリーニング、アセスメント、栄養ケア計画、モニタリングと評価
第１１回　ライフステージと栄養：乳幼児、幼児期、学童期、思春期・青年期、成人期の栄養　他
第１２回　ライフステージと栄養：妊娠期、授乳期、更年期、高齢期の栄養　他
第１３回　臨床栄養：病院食、栄養補給法、疾患・症状別食事療法、循環器疾患食事療法　他
第１４回　臨床栄養：消化器疾患（胃・腸・肝臓・膵臓）、栄養代謝疾患、呼吸器・血液・がん　他
第１５回　臨床栄養：対象者別の栄養管理、病期別の栄養管理、緩和ケア（終末・看取り）と栄養管理
第１６回　定期試験

【授業実施方法】

基本的に講義形式で行う。※パワーポイント使用。資料あり。

【事前・事後学習】

講義内容について事前に教科書や配布資料で予習する。専門用語を調べておく。事後は復習して理解を深める。
それぞれ毎回３０分以上行うこと。

【主な関連する科目】

人体の構造と機能Ⅱ（解剖と生理学・生化学）、地域・在宅看護論

【教科書等】

①系統学看護学講座専門学基礎分野「人体の構造と機能３　栄養学」小栗靖生　倉貫早智ら　著　医学書院

【参考文献】

①「ナーシング・グラフィカ　疾病の成り立ちと回復促進④　臨床栄養学」關戸啓子ら　編　MC メディカ出版

【成績評価方法】

筆記試験９０%、課題レポート１０%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

管理栄養士、栄養教諭の経験を基盤として栄養学の基礎知識、栄養素の吸収・代謝、栄養状態のアセスメント、病院食の栄養管理、ライフステージにおける栄養・健康づくり、チーム看護や保健活動などについて分かりやすく講義し、学生が自ら考える機会としたい。

【学生へのメッセージ】

日常の食事や栄養に関心をもち、食生活を自己管理できるようにしてほしい。そのうえで、医療における食の役割や看護としてのチームアプローチへの方法を考えてください。積極的に予習、復習を行って臨むことを期待します。